

最上小国川清流未来ニュース

令和元年 6 月 28 日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第15号

ゴミのない、きれいな最上小国川のために！



5月8日（水）から9日（木）にかけて、最上小国川の最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近までおよそ3.5km区間の河川大規模清掃を行いました。その名も「最上小国川クリーンアップ大作戦」です！昨年の8月の2回の豪雨では最上小国川が氾濫し、周辺の建物が浸水したり、堤防が壊れたりする被害が出ました。その影響により、川岸には例年にない大量の漂着ゴミがありました。

2日間で32トンのゴミを回収しました



こうした状況から、7月の鮎釣り解禁を前に最上小国川の機能の回復や環境美化、イメージアップを図るため、県が「最上小国川清流未来振興機構」の一員として、山形県建設業協会最上支部に協力を働きかけたところ、2日間で25社、延べ80名もの方々にご参加いただきました。

ご参加いただいた山形県建設業協会最上支部の皆さま

最上小国川クリーンアップ大作戦にご参加いただいた山形県建設業協会最上支部会員はご覧のとおりです。

(株式会社省略、順不同)

伊藤組、大沼建設、大場組、小川建設、カキザキ、柿崎建設工業、柿崎工務所、神室工業、川田建設、北山建設、寿建設、小松建設、澤内建設、白岩土木建築、新庄砕石工業所、新庄・鈴木・柴田組、新庄土木、永井建設、沼田建設、星川建設、丸保大沼組、丸充建設、最上振興、八鍬建設、山田建設

作業にあたり山形県建設業協会最上支部副支部長の永井敏行（永井建設代表取締役）様からご挨拶をいただきました。

その後は4班に分かれて、川岸を歩いたり、ゴムボートに乗ったりしながら、流木に絡みついたビニールシートやタオルなどのゴミ、合計32トン（例年8トンほど）を回収することができました。

今後も最上小国川の素晴らしい景観や、河川環境を守っていきけるよう関係団体と協力しながら取り組んでいきたいと思ひます。



～第4回最上小国川写真コンテスト開催中～

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに写真コンテストを開催しています。最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出など）を撮影した作品を募集しています。

【応募締切】

令和元年11月30日（土）まで（当日消印有効）

【入賞】

入賞者には賞金の贈呈のほか、「最上小国川流域の特産物」のプレゼントもあります！

今回は新たに特別賞を設け、入賞数が増えました。

皆さまの多数の応募お待ちしております！

※応募方法等詳しくは、右側のQRコードをご確認ください。写真コンテストのHPへアクセスできます。



QRコード



【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構（山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内）：0233-29-1240

※ 最上小国川清流未来振興機構のホームページでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。（<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>）